



TOKI  
CULTURAL  
FESTIVAL

力作・秀作がずらり

# 土岐市文化祭 第52回美術展

詳しくは、文化振興課(内線555)へどうぞ。

市民一人一人が参加できる芸術文化活動の促進を図ることを目的に始まった文化祭・美術展も今年で52回目を迎えました。

今年は、11月12日(木)から15日(日)まで、セラトピア土岐で開催され、応募作品は、9部門465点、特別出品70点、選外を除く531点を展示し、鑑賞に訪れた人たちの目を楽しませていました。

今回の特集では、各部門の上位入賞作品と入賞者をお知らせするとともに、運営委員長である長谷川宇三さんと、長年優れた作品を出品され、今回子文賞を受賞された方々の声をお伝えします。(敬称略)



# 日本画



日本画の部・市展賞「枯葦」 田中八重さんの作品

## 日本画の部

### 市展賞

田中 八重(駄知町)

### 市長賞

今井かおり(瑞浪市)

### 議長賞

荻原 正三(多治見市)

### 教育委員長賞

伊藤 銈子(土岐津町)

回 奨励賞 5点 / 入選 20点

# 洋画

## 洋画の部

### 市展賞

長谷川典子(恵那市)

### 市長賞

国分はるみ(肥田町)

### 議長賞

高橋 進(駄知町)

### 教育委員長賞

志水 弘(泉町)

回 奨励賞 9点 / 入選 28点



洋画の部・市展賞「頑固な工場」 長谷川典子さんの作品



彫刻の部・市展賞「ダイヤからの立体 幾何シリーズ」  
杉野典嗣さんの作品

彫刻の部

- 市展賞  
杉野 典嗣(各務原市)
- 市長賞  
渡辺 政百(瑞浪市)
- 議長賞  
松山 真梨(瀬戸市)
- 教育委員長賞  
渡辺 賢一(美濃加茂市)

回 奨励賞 3点 / 入選 5点

彫  
刻

陶  
芸

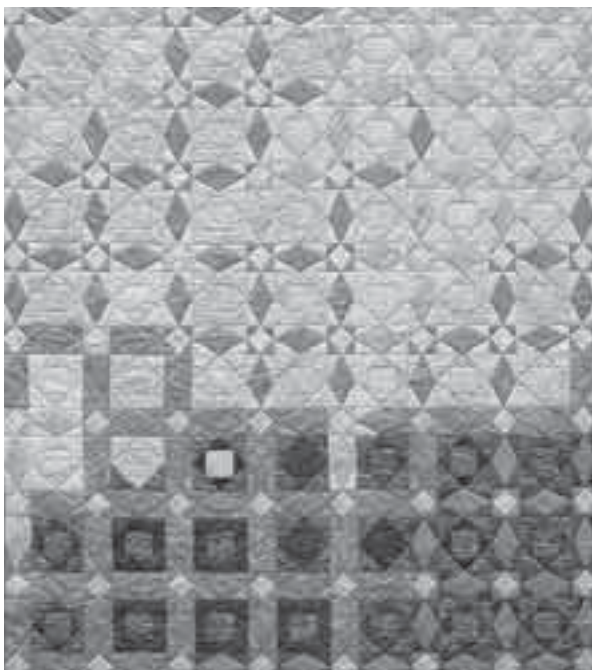
陶芸の部

- 市展賞  
細川 令子(泉 町)
- 市長賞  
尾木 卓弥(土岐津町)
- 議長賞  
加納 洋子(瑞浪市)
- 教育委員長賞  
岡田 侑也(泉 町)

回 奨励賞 8点 / 入選 29点



陶芸の部・市展賞「風のつの笛」  
細川令子さんの作品



手工芸の部

- 市展賞  
安藤 確代(下石町)
- 市長賞  
柳 璃奈(肥田町)
- 議長賞  
清水 昌文(肥田町)
- 教育委員長賞  
中島 嘉慧(曾木町)

回 奨励賞 4点 / 入選 16点

手工芸の部・市展賞「光と海面」 安藤確代さんの作品

手  
工  
芸

# 写真



写真の部・市展賞「田んぼアート」 田中静香さんの作品

## 写真の部

### 市展賞

田中 静香(多治見市)

### 市長賞

加藤 千苗(泉 町)

### 議長賞

小川 妙子(多治見市)

### 教育委員長賞

土井 香一(春日井市)

回 奨励賞 18点/入選 72点

# 商業美術

## 商業美術の部

### 市展賞

吉田 悠(多治見市)

### 市長賞

林 春伽(多治見市)

### 議長賞

西尾 有加(多治見市)

### 教育委員長賞

原 優佳(中津川市)

回 奨励賞 26点/入選 101点

商業美術の部・市展賞「THE CONFUSED CROW」

吉田 悠さんの作品



# 書道

## 書道の部

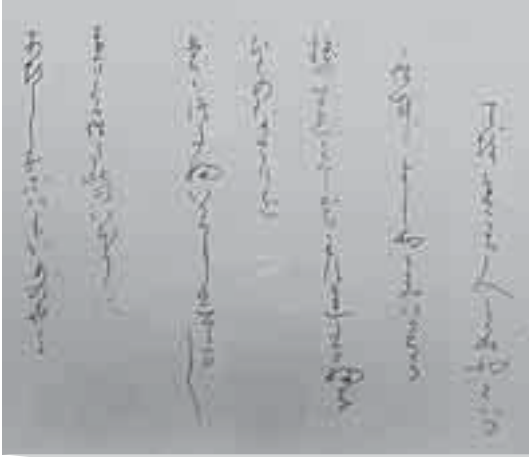
市展賞  
宮川富美子(多治見市)

市長賞  
安藤 紫烟(下石町)

議長賞  
小林 紫香(下石町)

教育委員長賞  
西脇 聖園(名古屋市)

回奨励賞 8点/入選 31点



書道の部・市展賞「ことさらに」 宮川富美子さんの作品



# 硬筆書道

## 硬筆書道の部

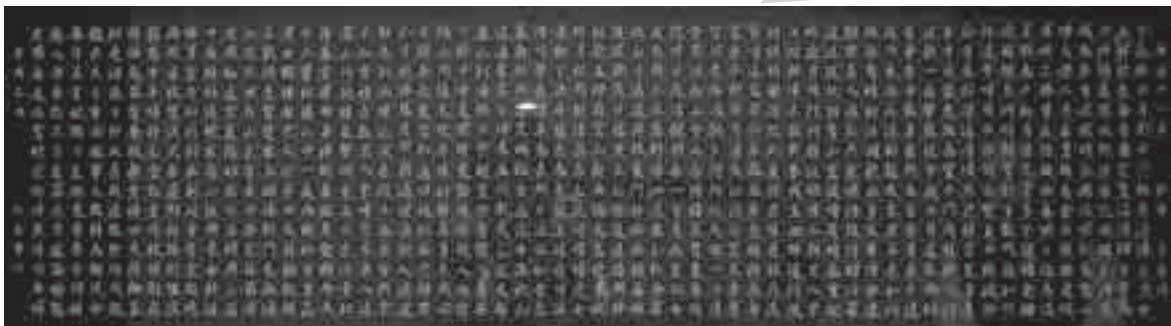
市展賞  
都築八重子(泉 町)

市長賞  
福岡 舟泉(泉 町)

議長賞  
澤 幸寿(泉 町)

教育委員長賞  
三宅 洋子(土岐津町)

回奨励賞 8点/入選 31点



硬筆書道の部・市展賞「唐詩十一首」 都築八重子さんの作品

## 市の文化・芸術の発展を願って

美術展運営委員長  
長谷川宇三さん(妻木町)



昭和42年の土岐市美術作家連盟の発足など、市の文化・芸術活動の向上に活動が続けている。これまで美術展に携わり感じたことや、今後を期待することを長谷川さんに聞きました。

### 今年の特徴は？

今年は、何といっても若い方の出展が多かったですね。これは今までになかったことです。特に手工芸の部と商業美術の部での出展が目立ちました。その中でも手工芸の部で市長賞を受賞した、柳璃奈さんの作品は、素材の使い方、アイデアの斬新さ、そして何より8歳という年齢に審査員が皆驚きました。今回のように若い方の出展は、市の文化・芸術活動が発展する良いきっかけになると思います。

私がこのイベントに携わって40年を越えますが、出展作品の様子も変わってきました。写真でいえば、デジタルカメラの普及が大きいと思います。デジタルカメラは手軽に撮影できるので、美術展への参加もしやすいと思います。また、日本画では水墨画が減る一方で、カラーで明るい色合いの作品が多くなりましたね。私は、土岐市の文化・芸術の発展と向

上を願ってこのイベントに携わってききましたが、年を重ねるごとに作品のレベルは上がってきたと思います。

### 今後の美術展に期待することは？

この美術展には、市内外を含め全国の方から多くの出展があります。今後は、美術連盟に参加していない方など、一般の方の応募がもっと増えたらと願っています。そういった意味で今回は、新しい方や若い方の出展が多かったことは、今後に向けて良いきっかけになったと思います。これから出展される方には『何でも出す』という意欲を持って、どんな大作にチャレンジして欲しいですね。また、一般の方ならではの、物まねでない、自分の感性を生かした、個性豊かでバラエティーに富んだ作品の出展を望みます。

この美術展はうまい下手にかかわらず、誰でも参加できる一般公募の美術展ですので、少しでも多くの方が出展されることを願っています。

## 子文賞受賞者

子文賞とは、元市長水野沖三夫人、子文さんにちなんで設立された基金から、市美術展において長年にわたり優れた作品を出品された方に贈られる賞です。今年の特徴は？

今年の特徴は？



### 洋画の部 中村裕二さん(泉町)

これまで市展賞を3回受賞し無鑑査を経て、今回の子文賞に到達しました。

絵を描き始めたきっかけは、小学校高学年の時、親戚のおじさんに絵の手ほどきを受けたことで、その後、一生絵を描こうと心に決めました。今は『テンペラ混合技法(※)』との出会いが自分を支えています。油絵も独学で身に付けましたが、この技法に出会った時の驚きと確信は、ゼロから洋画を見直すことを決意させました。

今後この賞に恥じない作品を作り続けたいと思います。

※テンペラ(卵と描画用油を混ぜた溶液に顔料を加えた絵の具)と油絵の具を併用して描く技法

### 手工芸の部 足立典子さん(泉町)

昭和54年に美術展に初めて出展し教育委員長賞を受賞して以来、家族や仲間

に刺激を受けながら30年間好きなことを続けてこられました。私の作品は『フランス刺しゅう』といって綿糸を使った刺しゅうで、作品は身の回りの景色や花などを題材にしています。制作のため1日10時間刺しゅうをすることもありますが、以前は徹夜をすることもありました。現代は技術が上がり、ただ糸を刺すだけでなく、基本となるデッサンが大切になってきたと思います。

これからも健康で続けられる限り、生涯作品を作り続けたいと思います。

